

**未来社会創造事業 探索加速型探索研究**  
**事後評価結果**

1. 領域

「個人に最適化された社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

場面や状況により変化するひとの幸福な状態を再現性高く計測・評価する技術に基づく新サービスの創出

3. 研究開発課題名

マルチモーダル AI を用いた視覚指標による幸福度評価

4. 研究開発代表者名(機関名および役職は評価時点)

中澤 徹 (東北大学大学院医学系研究科 教授)

5. 評価結果

評点: A 優れている

総評:

本研究開発課題は、マルチモーダル AI を活用し視覚障害者の心の状態を他覚的に評価できる指標の確立、及び視機能障害により低下する Well-Being を高めるデバイス開発や行動様式の提案を目指すものである。

探索研究期間において、視覚障害者と健常者との主観的アンケート調査比較の結果、「当たり前の生活」が幸せに感じるという視覚障害者の特異的な評価尺度があると見いだしたことを評価する。

また、先行研究において人の幸福感に関係していると知られているオキシトシンが、視覚障害者では健常者に比べて有意に低いことを視覚障害者に対する計測データで実証し、さらに、視覚障害者への短期的/長期的支援(ロービジョンケア)行動の前後において、変動するタンパク質及び修飾 RNA を Well-Being の客観的評価指標として同定するなど着実な研究成果が認められた。

今後は、主観的なアンケート調査ならび客観的測定結果のさらなるデータ解析を行い、マルチモーダル AI の活用により、Well-Being の客観的評価指標の確立にむけ、研究開発が発展することを期待する。

以上